



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社データホライゾン  
コード番号 3628 URL <http://www.dhorizon.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長  
四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日

(氏名) 内海 良夫  
(氏名) 内藤 慎一郎

TEL 082-279-5525

配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	175	—	△124	—	△120	—	△122	—
27年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	△35.25	—
27年3月期第1四半期	—	—

(注)平成27年3月期第1四半期は個別財務諸表を作成していないため、平成27年3月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	923	735	78.0	207.09
27年3月期	1,174	852	71.5	241.46

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 720百万円 27年3月期 839百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,700	33.6	50	—	50	—	35	—	10.06

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※当社は売上高・利益ともに下期に偏重する傾向があるため、第2四半期累計期間の業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	3,557,060 株	27年3月期	3,557,060 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	77,851 株	27年3月期	78,851 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	3,478,220 株	27年3月期1Q	3,478,209 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当社は、前第1四半期累計期間では四半期連結財務諸表を開示しておりましたが、当事業年度においては重要性が乏しい清算中の子会社1社を連結の範囲から除外し、四半期財務諸表を作成しております。このため、前年同四半期との比較は行っておりません。

また、当社は医療関連情報サービス事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、企業業績が改善し、設備投資の増加や雇用情勢の改善傾向が続きました。個人消費も持ち直しの兆しが見込まれ、全体的に緩やかな回復基調で推移しました。

当社の主要顧客である自治体、健康保険組合などの保険者においては依然として厳しい財政状態が続いておりますが、国策として推進されているデータヘルスに関する関心が高まっており、データヘルス関連サービスの需要は増加傾向にあります。

このような状況下で、当第1四半期累計期間において当社は、保険者向け情報サービスにおいて、データヘルス関連サービスの販売活動を積極的に推進しました。

紙レセプト時代からレセプトデータを分析してきた技術的アドバンテージと、データヘルスに適合した効果的・効率的なサービスの提供実績をもとに、国民健康保険向けを中心に受注を伸ばしております。

地域別では、東日本地域で、従来から受注のあった首都圏や北海道をはじめとして、東北地方、北関東および北陸など中部地方へも網羅的に営業を展開し、新規受注の獲得や、既存顧客への提供サービスの追加受注につなげました。一方、西日本地域では、近畿圏を中心に新規受注を獲得したほか、既存顧客への提供サービスの追加による受注拡大を積極的に推進しました。

受注数は着実に伸びておりますが、受注の多くは年度末での売上となるため、当第1四半期累計期間の売上高は1億75百万円となっております。

損益面につきましては、営業損失が1億24百万円、経常損失が1億20百万円、四半期純損失が1億22百万円となりました。

(季節変動について)

当社の受注する案件は、保険者である自治体との契約が中心となるため、自治体の年度末である3月末までを契約期間とする業務が多く、年間売上高の多くが第4四半期会計期間に計上されます。また人件費・営業経費等の固定費は毎月ほぼ均等に発生するため、期中は営業損失が生じる季節変動の特徴があります。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期末の流動資産の残高は、売掛金が回収により4億4百万円減少したものの、短期借入金の返済や納税などにより現金及び預金は1億9百万円の増加にとどまり、前期末に比べて2億82百万円減少しました。

また、固定資産に大きな増減はありません。

この結果、当第1四半期末の資産合計は、前期末に比べて2億51百万円減少し、9億23百万円となりました。

(負債)

当第1四半期末の流動負債の残高は、短期借入金の返済による減少80百万円、その他に含まれる未払消費税等の納付による減少などにより前期末に比べて1億31百万円減少しました。

また、固定負債に大きな増減はありません。

この結果、当第1四半期末の負債合計は、前期末に比べて1億34百万円減少し、1億88百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期末の純資産の残高は、四半期純損失1億22百万円により利益剰余金が減少し、7億35百万円となりました。

また、借入金の返済により自己資本比率が6.5ポイント改善し、78.0%となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成27年5月8日付「平成27年3月期決算短信」で公表しました平成28年3月期の通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	252,740	361,984
売掛金	478,649	74,149
仕掛品	23,322	44,015
原材料及び貯蔵品	7,249	7,053
その他	36,447	25,886
貸倒引当金	△2,872	△445
流動資産合計	795,535	512,642
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物	136,333	128,611
減価償却累計額	△71,533	△63,077
建物(純額)	64,800	65,534
構築物	1,200	1,200
減価償却累計額	△1,161	△1,163
構築物(純額)	39	37
車両運搬具	8,578	9,336
減価償却累計額	△8,578	△777
車両運搬具(純額)	0	8,559
工具、器具及び備品	205,903	217,406
減価償却累計額	△178,835	△178,825
工具、器具及び備品(純額)	27,067	38,581
土地	70,844	70,844
有形固定資産合計	162,750	183,555
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	128,125	118,211
ソフトウェア仮勘定	-	17,206
その他	404	404
無形固定資産合計	128,529	135,821
投資その他の資産	88,039	91,183
固定資産合計	379,319	410,558
資産合計	1,174,853	923,200

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	9,661	5,438
短期借入金	80,000	-
未払法人税等	5,344	800
賞与引当金	33,714	23,765
その他	170,064	137,414
流動負債合計	298,784	167,416
固定負債		
退職給付引当金	15,040	12,969
その他	8,715	7,648
固定負債合計	23,754	20,617
負債合計	322,538	188,034
純資産の部		
株主資本		
資本金	454,200	454,200
資本剰余金	154,200	154,333
利益剰余金	275,492	152,872
自己株式	△52,516	△51,850
株主資本合計	831,376	709,555
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,467	10,964
評価・換算差額等合計	8,467	10,964
新株予約権	12,472	14,647
純資産合計	852,315	735,166
負債純資産合計	1,174,853	923,200

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
売上高	175,241
売上原価	123,188
売上総利益	52,052
販売費及び一般管理費	176,209
営業損失(△)	△124,157
営業外収益	
受取配当金	229
受取家賃	409
助成金収入	150
貸倒引当金戻入額	2,427
雑収入	416
営業外収益合計	3,631
営業外費用	
支払利息	159
営業外費用合計	159
経常損失(△)	△120,685
特別利益	
固定資産売却益	2,435
特別利益合計	2,435
特別損失	
固定資産除却損	54
特別損失合計	54
税引前四半期純損失(△)	△118,304
法人税、住民税及び事業税	242
法人税等調整額	4,073
法人税等合計	4,315
四半期純損失(△)	△122,620



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の事業セグメントは、医療関連情報サービス事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。